とっとり観光ニュース 2010年4月号

１　周遊マップ「ゲゲゲの女房　ゆかりの地を訪ねて」を制作

平成２２年４月から６月までの３ヶ月間、大山山麓観光推進協議会、安来市、鳥取県と共同で、中国最高峰の「大山（だいせん）」、水木しげる氏の出身地で妖怪の町として知られる「境港」、商業の町として栄え下町風情が今も残る「米子」、「ゲゲゲの女房」の原作者で水木しげる氏の妻・武良布枝（むらぬのえ）氏の故郷「安来」にスポットを当てた「大山・鬼太郎キャンペーン」を開催します。期間中は様々な特別企画をご用意するとともに、観光スポットを楽しみながら巡っていただけるよう、駅からのアクセスを充実しました。

また、中海四市観光協会会議では、水木しげる氏と妻・布枝氏のゆかりの地を詳しく紹介した周遊マップ「ゲゲゲの女房　ゆかりの地を訪ねて」を制作しました。布枝氏の故郷・安来市をはじめ、松江市、米子市、そして水木しげる氏の故郷・境港市の情報がギュッと詰まった１枚です。周遊マップを手に、水木しげる夫妻のゆかりの地を訪ねてみてください。

この春は、「ゲゲゲのふるさと鳥取県」へぜひお出かけください。

○ＪＲ西日本「大山・鬼太郎キャンペーン」
http://www.westjr.co.jp/news/newslist/article/1174706_799.html
○境港市観光協会　http://www.sakaiminato.net/

２　水木しげるロードのブロンズ像が１３９体に！

協力／©水木プロ

平成２２年３月２日に水木しげる氏の生家前に「水木しげるが幼少を過ごした地」の石柱が設置されました。それを皮切りに、お誕生日である３月８日には、ＪＲ境港駅近くに「水木しげる夫妻のブロンズ像」も登場！

さらに来る４月４日（日）には「河童の泉」近くに、新たに３体のブロンズ像の設置・お披露目を予定しております。これにより、水木しげるロードのブロンズ像は、１３９体にパワーアップします。こうご期待！

○境港市観光協会　http://www.sakaiminato.net/

３　妖怪列車リニューアル

ゲゲゲの鬼太郎に登場する妖怪のイラストを車体に描いたＪＲ境線の妖怪列車のうち、昨年１０月の「鬼太郎列車」リニューアルに続き、去る３月１３日、「ねずみ男列車」も一新！お金が大好きなねずみ男の性格に合わせて、鮮やかな黄金色の車両となりました。

○境港市観光協会　http://www.sakaiminato.net/

４　「大山（だいせん）・鬼太郎（きたろう）を掲載した西日本宝くじ発売！！

鳥取県をＰＲする大山・鬼太郎を掲載した西日本宝くじが４月１日（木）から１３日（火）までの１３日間、中国・四国・九州・沖縄地方の各県内で発売されます。

当せん金の支払いは、全国の宝くじ売り場他で可能ですので、鳥取のお土産、記念にどうぞ！

■名　称　　第1968回西日本宝くじ（とっとり鬼太郎宝くじ）
■発売期間　　平成２２年４月１日（木）から１３日（火）まで：１３日間
■発売元　　西日本ブロック１７県、４指定都市（受託：みずほ銀行）
（17県4市／鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の各県及び岡山・広島・北九州・福岡の各市）
■発売地域　　中国、四国、九州、沖縄地方各県内の宝くじ売場
（鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県）
■額面金額　　１枚　１００円
■当せん金

１等	１，０００万円	１本	
１等の前後賞	１００万円	２本	
１等の組違い賞	５万円	２９本	
２等	１０万円	６０本	
３等	１万円	３００本	他、６等まで

■抽せん日　　平成２２年４月１５日（木）
■支払開始　　平成２２年４月２０日（火）

○とりネット（財政課）　http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=126570
○境港市観光協会　http://www.sakaiminato.net/

５　ガイダンス施設「弥生の館　むきばんだ」４月４日（日）オープン！

中国地方の最高峰、霊峰「大山（だいせん）」のふもとに、地元の人々に古くから親しまれてきた里山「晩田山」があります。

妻木晩田遺跡（むきばんだいせき）はこの里山にあって、１９９５年から行われてきた発掘調査で竪穴住居跡４４０棟、掘立柱建物跡５００棟以上などが見つかったわが国最大級を誇る弥生時代のムラの跡です。史跡に指定された面積は１５２ヘクタール、東京ドームなら３０個以上入る広大さです。

遺跡は１９９９年１２月に国の史跡に指定され、引き続き遺跡の様子を詳しく探る発掘調査を行いながら、ムラが最も活気づいていた１８００年前頃の様子を甦らせる計画を進めています。

今年度は発掘された当時の竪穴住居を展示する施設「遺構展示館」の建設や４棟の竪穴住居が新たに復元されます。そして、展示室や体験学習室を備えたガイダンス施設「弥生の館　むきばんだ」が４月４日オープンします。

施設名称もより多くの方に親しんでいただくよう「妻木晩田遺跡事務所」から「鳥取県立むきばんだ史跡公園」と変わります。成長し続ける「よみがえる弥生の国邑（こくゆう）　むきばんだ遺跡」へぜひご来場ください。

■入園料　　無　料
■休園日　　毎月第４月曜日、年末年始（１２月２９日～１月３日）
■利用時間　午前９時から午後５時まで（入場は午後４時３０分まで）
７・８月は午後７時まで（入場は午後６時３０分まで）
■駐車場　　大型バス／３台、自家用車／６０台（身体障がい者用駐車場あり）
■その他　　ボランティアガイドあり、シルバーカーあり

■お問い合わせ先　　妻木晩田遺跡事務所（西伯郡大山町妻木1115-4）
（※４月から施設名称変更）
TEL：0859-37-4000／FAX：0859-37-4001
Eメール：mukibanda@pref.tottori.jp

○とりネット「妻木晩田遺跡」　http://www.pref.tottori.lg.jp/mukibanda/

６　「三徳山探訪得々クーポン」発売開始！

三朝温泉旅館に宿泊された方限定で、三徳山の入山券（投入堂参拝を除く）と周辺の茶屋でのお食事券、さらに三朝温泉旅館での入浴半額券をセットにしたお得なクーポン券が発売されました。
三朝温泉の旅館フロントで発売されていますので、お泊まりの方はぜひご利用ください。

■発売期間　　平成22年4月1日(木)～平成22年7月31日(土)
（但し　5／1～5／5を除く）
■価　　格　　１枚　１，０５０円
■販売場所　　三朝温泉各旅館フロント
■内　　容
［入　山　券］　本券で本堂まで参拝できます。
（投入堂まで登山される場合は別に志納金２００円が必要です。）
［茶店昼食券］　三徳山の次の３軒の茶店のいずれかでご利用いただけます。
・みとく苑
・みとく門前茶屋
・谷川天狗堂
※ 固定メニュー（とち餅入りうどん、ご飯、一品）
［旅館入浴半額券］　対象１６旅館の中でいずれか１回半額にて入浴いただけます。
■お問い合わせ先　　三朝温泉観光協会　TEL：0858－43－0431
三朝温泉旅館協同組合　TEL：0858－43－0431

○三朝温泉旅館協同組合公式ＨＰ　http://www.spa-misasa.jp/
（お宿情報、三朝みすとネット販売等）
○三朝温泉観光協会公式ＨＰ　http://www.misasa-navi.jp/
（観光情報・イベント情報・飲食店・各種ＭＡＰ等）

７　「ここはふるさと旅するラジオ　８０ちゃん号」が鳥取県にやってきます！

全国をラジオ中継車が巡回して、「やる気・元気・本気」を紹介している「ここはふるさと旅するラジオ」。２０１０年度最初は「鳥取県の旅」です！
県西部の４市町の旅！地域で頑張る方々を公開生放送で全国にご紹介します。

■放送日時　　平成２２年４月５日（月）～８日（木）
■放送時間　　午後０時３０分～０時５０分
■放送局　　ラジオ第一、ＦＭ放送
■放送内容
～４月５日（月）　米子市～
★「“DARAZ”で街を盛り上げろ！」（ほんどおり商店街DARAZ CREATE　BOXから生放送）

シャッターを下ろした店が増えた米子市の中心商店街。ここをもう一度元気にしようと「だらず」をキーワードに活動しているNPOを、その拠点としてオープンする施設からご紹介！

～４月６日（火）　境港市～

★「ゲゲゲのふるさと　ドラマでフィーバー！」（境港駅前広場から生放送）

朝ドラ「ゲゲゲの女房」の放送開始に合わせ、妖怪の街はますます元気！活動の仕掛け人や、水木氏の妻・布枝さんが「境港の母」と呼ぶ方が登場します。

～４月７日（水）　日野町～

★「日本一！？縁起の良い神社」（日野町役場から生放送）

その名にあやかろうと年間１５万人以上が訪れる「金持(かもち)神社」。神社は参拝客だけでなく、あちこちに大きな御利益をもたらしています。神社にまつわる活動をお伝えします。

※荒天時は、役場横の日野町文化センター内から放送します。

～４月８日（木）　大山町～

★「みんな大好き！名峰・大山」（大山情報館前から生放送）

中国地方最高峰・大山。登山にスキーにと、毎年多くの方を引き寄せています。この歌を描き４０年近く歌われている「大山賛歌」を作詞した女性に、魅力や大山への想いをうかがいます。

※荒天時は、大山情報館の中から放送します。

８　「砂の美術館－第４期展示－」いよいよ開催！

『砂の美術館』は、「世界で唯一砂の彫刻を展示する美術館」として、開館以来延べ６０万人の入館者を達成し、鳥取の新たな観光名所となっています。

「砂」で造られた彫刻であるがゆえに崩れやすく、制作には高い技術が必要です。いつ崩れるともしれない危うさと刹那さがより一層、観る者の心を動かします。「砂」という自然素材だからこそ表現できる造形美を、この機会にぜひお楽しみ下さい。

【砂の美術館　第４期展示】

■テ　ー　マ　　「砂で世界旅行・アフリカ～偉大なる大陸の歩みを訪ねて～」

■制作作品数　１０作品程度

アフリカに生息する野生動物や世界遺産のヴィクトリア瀑布、キリマンジャロ国立公園、また、サファリやサバンナの風景や鉱山発掘の様子などを砂で再現。

■会　　期　　平成２２年４月２９日（木）～平成２３年１月１０日（月）[無休]

■場　　所　　鳥取市福部町湯山 2083-17（鳥取砂丘情報館サンドパルとっとり隣接地）

■開館時間　　午前９時～午後８時（入館は閉館 30 分前まで）

※日没後は毎日ライトアップ

■料　　金　　一般　500 円、小中高校生　300 円

※20 名以上の団体の場合は、100 円割引

■お問い合わせ先　　鳥取砂丘情報館サンドパルとっとり　TEL：0857-20-2231

○砂の美術館　http://sakyu.city.tottori.tottori.jp/museum/

９　鳥取県の「砂丘らっきょう」

鳥取県内の砂丘地ではらっきょう作りが盛んです。

らっきょうの収穫は初夏、５月下旬から６月下旬にかけて行われ、全国に出荷されます。畑のきめ細かい砂地で栽培される「砂丘らっきょう」は、色の白さとシャキシャキとした歯ごたえが自慢のトップブランドです。大玉で細長い形状の「らくだ系」が中心品種ですが、北栄町では小玉で丸型の「玉系」らっきょうも栽培されています。

出荷シーズンには根付きらっきょうや、洗い（洗浄し芽止めのために塩水にくぐらせたもの）の形態で生鮮品として出荷されるほか、酢漬けなどの加工品も県内食品メーカにより様々な味付けのものが作られています。

そして、７月になると、またらっきょうの植え付けが始まり、１０月下旬になると赤紫色の花が一斉に咲き誇ります。それはまるで一面に赤紫のじゅうたんを敷き詰めたような光景で「砂丘のラベンダー」ともよばれます。

今年も、砂丘らっきょうの収穫の時期と、赤紫色の花が一斉に咲き誇る時期にあわせて、鳥取砂丘周辺で下記のイベントを予定しています。

イベント内容等の詳細が決まりしだい、改めてご紹介します。

～第２回今が旬！らっきょうとれとれフェア～

■日程（予定）　　平成２２年５月２９日（土）～６月１３日（日）
　　※特別イベント日は６月５日（土）・６日（日）

～第３回らっきょうの花フェア～

■日程（予定）　　平成２２年１０月３０日（土）～１１月７日（日）
　　※特別イベント日は１１月３日（水・祝）

○食の往来「とっとりの名物」　http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=95243

10　知られざる美味「モサエビ」

秋から初夏まで沖合底引き網漁で漁獲される「モサエビ」。松葉がにのシーズンと重なる時期が長いため、隠れた存在になっています。弾力のある食感や旨味が強く、味は甘エビ以上ですが、鮮度劣化が早いため遠隔地への出荷は難しく地元でしか味わえない幻のエビです。

松葉がに漁が終わりを迎える３月から５月、「モサエビ」は旬を迎えます。この時期は鮮やかな桜色の胴体に緑色の卵を一杯に抱え、刺身や炭火焼はもちろん、吸い物、おみそ汁、バター炒めなど、さまざまな調理法でお楽しみいただけます。

○食の往来「とっとりの水産物」　http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=97911

編集・発行：鳥取県文化観光局観光政策課 電話 0857-26-7237　FAX 0857-26-8308　E-mail kankou@pref.tottori.jp
発行年月日：平成 22 年 3 月 26 日　県内外のマスコミ関係者の皆様に、地元の視点から県内観光スポットや関連イベント等を紹介します。この観光ニュースは、マスコミ等の皆様へ定期的にお届けし、記事等の参考にしていただけるように心掛けて作っています。しかしながら、紙面には限りがあります。不明なところなどは気軽にお問い合わせくださいますようお願いします。複製・転載可。（一部画像を除く。）
－鳥取県観光情報はこちらから　→　http://yokoso.pref.tottori.jp/